

ふれあい給食（愛知を食べる学校給食の日）

尾張旭市では、食育事業の一環として、地場産物を積極的に活用した「愛知を食べる学校給食の日（6月19日）」に併せて、市内で野菜を生産している秋田 文夫さん、JAあいち尾東の職員、県職員の栄養教諭、調理業務等委託業者の栄養士が小学校の児童と給食を一緒に食べ、ふれあいを深めるとともに、食の大切さや食に関する正しい知識を学び、食生活の習慣を身につけることにより健全な心身を育む事を目的として、「ふれあい給食」を実施します。

1 実施日

令和元年6月18日（火） 午後0時25分から午後1時10分まで

2 実施校

三郷小学校 第3学年 3学級 102名

3 当日の献立

●副食	ぶた肉のしょうが焼き、地元野菜のみそ汁、 キャベツのたくあんあえ、尾張旭市産いちじくゼリー		
●主食	白飯	●その他	牛乳

4 尾張旭市の食材

いちじくジャム、じゃがいも、たまねぎ、キャベツ

5 参考（愛知を食べる学校給食の日）

平成31年（2019年）度「愛知を食べる学校給食の日」実施要領【抜粋】
（愛知県教育委員会作成）

(1) 目的

学校給食に地場産物を使用することにより、児童生徒・保護者等が地域や地域の産物の理解を深め、地域に伝わる食文化や食の加工技術に触れることにより、より豊かな食生活を営もうとする意欲を高める機会とする。

(2) これまでの取組と成果について

「愛知を食べる学校給食の日」は、6月19日の「食育の日」を中心に、平成19年度から市町村立小中学校で実施。平成23年度からは、「秋の食材を味わえる時期」と「全国学校給食週間」前後の時期を加え、年3回の実施へと取組の拡充を図った。

担当 学校給食センター
電話 0561-53-2971